

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R7.1.23～3.7
クラス名(年齢)	ひまわり組(5歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

卒園協同製作 『いのちをうみだす どりゅうのたき』

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

楽しかった思い出をみんなで保育園に残したい、という気持ちから、何を残していきたいか話し合った。「はじめてのものを作りたい！」という強い思いから、大きく心を動かされた吐竜の滝を作ることにした。

2.活動スケジュール

R7.1.23～1.31 ひまわり会議「思い出、何を残そうか？」

R7.2.1～2.22 設計図とデザイン決め

R7.2.25～3.7 製作

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

発砲スチロール、絵の具、毛糸、スズランテープ、リメイクシート、布、フェイクモスグリーン、ビーズ、スパンコールシール等

4.探究活動の実践

<活動内容>

滝の様子をもう一度思い出しながら、どのように流れるのか、どこへ注いでいくのか考えた。山の中、岩を割って流れ落ちる滝の躍動感、どんな素材なら再現できるかを、様々な材料を使って試行錯誤しながら作った。心動いた瞬間を残したいと、滝に見惚れる自分たちの絵も描いた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
R7.2.14 滝ってどんな色？ 参考にしていた吐竜の滝の絵と、自分たちのデザイン画を見比べた子が一言。「滝って青いの？」 「青いよ」「白じゃない？」等々、絵をじーっと見ながら熟考。 「でもここは白いけど、こっちは水色」「水って青いわけじゃないよ。透明だよ」「透明が集まったら青になる」「海も青いよ」目にうつる色の違いを口々に話していく中で、また誰かの発言が。 「勢いよく流れるから白いんじゃない？」 「あ、そうか」と納得する子、しない子。 保育士が水道のところへいき、「じゃ実験！よく見てみようね」と水を勢いよく出すと… 「白！」「白に見える！」「じゃこっちは？」とゆっくり出すと…「透明だー」「早さが違うから、色も違うんだ！」「見え方の違いの理由を知り、納得の表情。	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

滝を残したいと考えたときから、作品の面積の多くを「水」が覆うことは想定していた。一人ひとりが描いたデザイン画には、「青」で描く子のほうが多かったが、覚えている滝の姿は「白」。同じ水なのに何が違うの？そこから活発な意見交換が始まった。たどり着いた答えは「勢いよく流れると白(に見える)」。水道で実験してもその通り！見え方の違いを一人ひとりが実体験とともにつかんだ、貴重な瞬間だった。